

2025 年度 ロジスティクス大賞 受賞 4 事例が決定 大賞、準大賞、技術革新特別賞、社会性特別賞

フィジカルインターネット実現に向けた取り組みなど、先進事例が集う

【Web ページ】 <https://www1.logistics.or.jp/news/news-9654/>

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）は、ロジスティクスにおいて優れた実績をあげた企業・団体を表彰する「ロジスティクス大賞」を毎年実施しており、本年で第 42 回目を迎えました。

このたび、ロジスティクス大賞ノミネート委員会および選考委員会による厳正なる審査の結果、「ロジスティクス大賞」の各賞が決定いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

ロジスティクス大賞

一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会、株式会社 traevo

共同輸送データベースの普及によるフィジカルインターネットの実現に向けて

ロジスティクス準大賞

株式会社ミスミグループ本社

機械部品業界のサプライチェーン在庫可視化によるロジスティクス最適化

ロジスティクス大賞 技術革新特別賞

花王株式会社

デジタルデータ・先端技術を活用した完全自動化倉庫実現によるドライバー・作業員不足への対応

ロジスティクス大賞 社会性特別賞

株式会社クボタ

複数民間企業連携による東京港オフピーク輸送トライアルプロジェクト

「ロジスティクス大賞」とは

ロジスティクス大賞は、ロジスティクスの推進に向けて、優れた実績をあげたと認められる企業、機関、団体を表彰する制度です。優れた実績や成果を顕彰することで、ロジスティクスの社会的浸透と、ロジスティクス部門および関係者の意識高揚を図ります。

応募資格は、日本国内に事業所を有する企業・機関・団体。取り組み内容をまとめた論文を提出し、ロジスティクス大賞ノミネート委員会および選考委員会にて、創造性、成果度、経営革新度、技術革新度、社会性、努力度などの評価基準に基づいて審査を行い決定します。

受賞事例の概要

ロジスティクス大賞

受賞法人 一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会、株式会社 traevo

受賞事例 共同輸送データベースの普及によるフィジカルインターネットの実現に向けて

受賞事由

共同輸送の促進を目的に構築された共同輸送データベース「traevo」は、物流情報の可視化・共有を通じて、業種や業態を超えた実践的な水平連携の道を切り開いた点が高く評価される。特に、複数企業による輸送空間の共同活用や帰り便の確保、発着地や荷種等の条件に応じたマッチング機能の実装により、物流における非競争領域の協調を現実のものとした先駆的な取組である。これらの成果は、フィジカルインターネットの社会実装に向けた基盤整備とも位置づけられ、将来的には国際物流やカーボンニュートラルといった社会課題の解決にも貢献する可能性を有する。物流分野における革新的な共創モデルの提示として、他産業への波及も期待されることから、本取組はロジスティクス大賞に相応しいものと評価された。

受賞法人 HP リンク [一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会](#)、[株式会社 traevo](#)

ロジスティクス準大賞

受賞企業 株式会社ミスミグループ本社

受賞事例 機械部品業界のサプライチェーン在庫可視化によるロジスティクス最適化

受賞事由

ミスミグループが構築したサプライチェーン可視化プラットフォームは、受発注や在庫、輸送の状況をリアルタイムで統合管理することで、機械部品業界における納期遵守率の向上とリードタイムの大幅な短縮を実現した点が高く評価された。業界特有の多品種・少量・短納期という要請に応えつつ、需給変動に柔軟に対応する仕組みを自社内だけでなく取引先全体に展開して構築しており、物流改革にとどまらず調達から生産までの統合的な最適化を志向している点が特筆される。また、データドリブン経営の実現に向けて AI 予測や動態データの活用も進められており、ものづくり基盤としての物流の価値を再定義する取り組みとして高く評価された。

受賞企業 HP リンク [株式会社ミスミグループ本社](#)

ロジスティクス大賞 技術革新特別賞

受賞企業 花王株式会社

受賞事例 デジタルデータ・先端技術を活用した完全自動化倉庫実現によるドライバー・作業員不足への対応

受賞事由

花王が推進する自動化倉庫プロジェクトは、ロボティクス、IoT、WMS といった先端技術を活用し、洗剤や化粧品といった生活消費財の物流において高度な自動化を実現した点が高く評価された。この取り組みにより、深刻化するドライバーや倉庫作業員の人手不足に対応するだけでなく、作業の標準化や効率化、省力

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

日本ロジスティクスシステム協会：坂口 TEL：代表 03-3436-3191 携帯 090-4711-6518 MAIL：fukyu@logistics.or.jp

化によって品質と安全性の向上にも寄与している。加えて、現場主導のカイゼンと IT システムの融合を図り、生産・物流・販売をシームレスにつなぐ次世代ロジスティクスモデルを構築している点も特筆される。これらの取り組みは、持続可能かつ高付加価値な物流体制の構築に貢献するものであり、技術革新特別賞に相応しいものと評価された。

受賞企業 HP リンク [花王株式会社](#)

ロジスティクス大賞 社会性特別賞

受賞企業 株式会社クボタ

受賞事例 複数民間企業連携による東京港オフピーク輸送トライアルプロジェクト

受賞事由

クボタが主導した東京港におけるオフピーク輸送トライアルは、民間企業同士の連携によって、輸送時間帯の平準化とドライバー負荷の軽減を実現しようとした先駆的な取り組みである。東京港の混雑を回避する夜間輸送や午前中搬出入へのシフトにより、待機時間の短縮・輸送効率の向上・温室効果ガス排出量の削減など、複数の効果を実証した。特に、荷主企業と物流企業の連携による制度・業務・意識面を含む多角的なアプローチは単なる実証にとどまらず、持続可能な運用の実装可能性を見据えた枠組みとなっている。今後の継続実施や対象企業の拡大によって、社会的課題の解決に資するモデルとしての展開が期待され、社会性特別賞に相応しい取り組みとして高く評価された。

受賞企業 HP リンク [株式会社クボタ](#)

表彰式・記念講演会の開催予定

2025 年度ロジスティクス大賞の表彰式、受賞記念講演会を 2025 月 10 月 17 日(金)に協会年次大会「ロジスティクス全国大会 2025（2 日目）」で開催いたします。会場はベルサール虎ノ門、表彰式のプレゼンターは、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 会長 大橋 徹二（コマツ 特別顧問）が務めます。

ロジスティクス大賞、主催団体ロゴデータ（利用可）



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

日本ロジスティクスシステム協会：坂口 TEL：代表 03-3436-3191 携帯 090-4711-6518 MAIL：fukyu@logistics.or.jp

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会について

1970 年 10 月に設立された任意団体 日本物的流通協会（平成 3 年 4 月 1 日に日本ロジスティクス協会に改称）と、同じく 1970 年 11 月に設立された任意団体 日本物流管理協議会とが、ひとつに統合され、1992 年 6 月 10 日に、通商産業省（現 経済産業省）、運輸省（現 国土交通省）共管の社団法人として設立許可を受けた。その後、公益法人制度改革により、内閣府から、公益を担う法人として認定を受け、2010 年 8 月 2 日に、公益社団法人に移行し、現在に至っている。

【協会概要】

団体名：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

本部所在地：〒105-0022 東京都港区海岸 1-15-1 スズエベイディウム 3F

協会会長：大橋 徹二 コマツ 特別顧問

事業内容：ロジスティクスにおける調査研究、普及啓発、人材育成、交流促進

設立：1992 年 6 月 10 日

HP：<https://www1.logistics.or.jp/>